

有人潜水調査船「しんかい6500」の設備

※黄文字は搭載機器

主要目			
全長	9.7 m	空中重量	26.7 トン
幅	2.8 m	最大潜航深度	6,500 m
高さ	4.1 m	乗員数	3名 (パイロット・研究者)

CTDO

水温、電気伝導度、深度、溶存酸素を測定するセンサ

コニカルハッチ

バラスタック

水平スラスタ

前方障害物探知ソナー

投光器

全部で7灯あります

主推進器

ハイビジョンTVカメラ、デジタルスチルカメラ

油圧ポンプユニット

垂直スラスタ

ウェイト

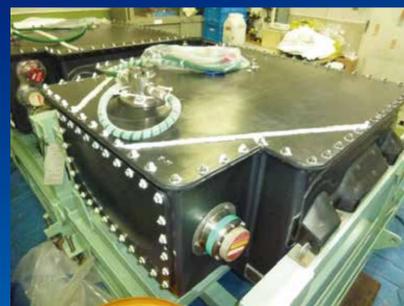
鋼鉄板のおもり

浮力材

大きさが100ミクロン以下の中が空洞になっているガラス球を、合成樹脂で固めたものです。船全体に約600ピース配置しています。

主蓄電池

専用に開発された2台のリチウムイオン電池によって電力をまかなっています。



覗き窓

厚さ138mmのメタクリル樹脂によってできています。



サンプルバスケット

マニピュレータ(ロボットハンド)

チタン製で軽量、高強度であり、操作性が良く、比較的容易に複雑な作業が行えます。



チタン合金製耐圧殻

「しんかい6500」のキャビンは内径2.0mの球(耐圧殻といいます)の中にあります。この球は軽くて丈夫なチタン合金でできています。高圧下の深海では僅かなゆがみも許されないため、この球の真球度は1.004、外径は僅か±2mm以下の製作精度で製造されています。



耐圧殻内の様子